

害虫を克服する最新技術の採用を

異物クレームゼロへ

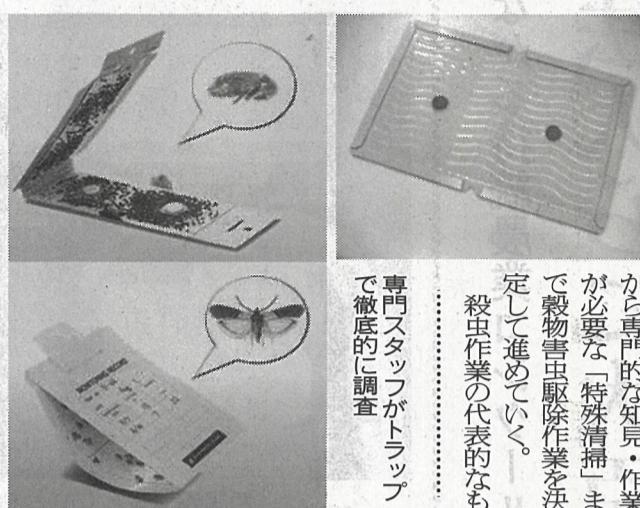
特殊清掃で効果的な殺虫を

日東防疫(株)

害虫駆除の根本的な
解決策が見つかること

に田植えの声が各地から聞こえ始め、暑さが次第に本格化していくこれが暖かい春の訪れとともに、い米穀事業者の悩みに丁寧に相談・対応し、解決に導いている。

同社が精米工場などで実際に行っている駆除内容では、初めてにトラップで多発する穀物害虫やネズミの被害だ。害虫・有害獣の生態と習性を熟知した経験豊富な「食品衛生のプロ」が揃う日東防疫(船津良生社長、本社・大分県別府市)では、



専門スタッフがトラップで穀物害虫駆除作業を決して進めていく。殺虫作業の代表的なも

つ、基本の「殺虫作業」から専門的な知見・作業が必要な「特殊清掃」まで穀物害虫駆除作業を決して徹底的に調査

専門スタッフがトラップで穀物害虫駆除作業を決して進めていく。殺虫作業の代表的なも

非常に効果が高い燻蒸剤殺虫

内に血栓で詰まっている状態(同社)となる。低濃度の殺虫を続けるとか

り、ガス燃焼による殺虫作業をいくら重ねても殺虫成分が十分に行き届かず、効果が上がらない

のでコストだけが積み上がり、「人間で言えば血管リーンな状態でガス燃焼剤などを使えば、本来のがたまつて本来の吸引力が低下し、害虫の大量発生を実施した結果、吸引

力が高まつてクレームが

とにかく減らせる。そこで同社では精米工場の清掃作業では除虫作業が困難なため、専門的

な機械分解清掃や集塵機

の機械の手配や取り付け

の問題点を徹底的に洗い出

す。その上で現場施設の

専門スタッフが分析して

問題点を徹底的に洗い出

す。その後、専門的

な機械分解清掃や集塵機

の機械の手配や取り付け

の問題点を徹底的に洗い出

す。その後、専門的

な